

一宮デジタル共助モデル実証事業

～デジタルを絆に、支え合い・教え合う“一宮共助モデル”の展開へ～

エイムズエー株式会社 X 一宮研伸大学



一宮デジタル共助モデル実証事業

エムズエー株式会社 X 一宮研伸大学

【課題とアプローチ】

- ✓ デジタルデバイド（情報格差）の解消
- ✓ 地域共助人材（担い手）不足の解消
- ✓ 暮らしを支えるデジタル利活用不足の解消

① 一宮デジタルナビゲーター認定制度案 （愛称）イチ・デジ ナビゲーター



自ら学び、その知識を活かして「他者を支え、地域に貢献したい」という意欲を持つ人材の育成と活動促進を目指します。

【今年度の実証範囲】

一宮研伸大学の学生10名を
学生ナビゲーターモニターとする

② デジタル空間で学ぶ “イチ・デジ オンラインスクール”



デジタルの学びを中心に、テーマごとに整理された内容を、スマートフォンによるeラーニングで自分のペースで学習・復習できるオンライン学習ツール。

市内在住の高齢者30名をモニターとして
オンラインスクールを体験していただく

将来構想（ビジョン）

ビジョン

支え合い・教え合う文化を基盤に、
持続可能な地域づくりを推進する。

一宮市を、
デジタルの力で社会課題を解決する
先進モデル都市へ。



支え合い・教え合い

誰もがつながり、学び合える
温かなコミュニティを育む



デジタルの力

データとテクノロジーで
暮らしをより便利に、豊かに



社会課題の解決

地域の課題に寄り添い、
持続可能な仕組みをつくる



先進モデル都市へ

一宮市から未来へ、
全国へ、世界へ発信する

—— デジタルを絆に、支え合い・教え合う “共助のまち一宮” へ ——
そして『世代を紡ぎ、未来を創る』

参考：地域共助の仕組みの全体像

